



# 西牧野小だより

12月  
9号

枚方市立西牧野小学校通信

Tel 050-7102-9116

FAX 072-851-0035

令和6年12月2日

校長 青木 智充

## 子どもが主役の学校へ



秋が深まるにつれて校庭の木々も色味を増し、同時に落ち葉のじゅうたんが厚く敷き詰められていきます。今年度も12月7日にPTAと子どもいきいき広場の共催で落ち葉拾いをさせていただき予定です。よろしくお願いいたします。

さて、今年度枚方市教育委員会より児童・生徒を取り巻くすべての方々の教育観の転換（例：自立した学習者、教えから学びへの転換等）を図るため「子どもが主役の学校へ」と方針を打ち出し、本校でも「子どもが主役の学校づくり」に取り組んでいます。この取り組みでは、お子様の自立した学習を促し、一人ひとりの可能性を最大限に引き出すことを目指しています。

なぜ「子どもが主役」なのでしょう？

「子どもが主役」とは、「子どもたちが主体的に学び、自己実現できること」であり、その力（主体的に学ぶ・自己実現できる）が子どもたちの未来に求められているからです。教師や保護者、地域は、その成長を支える脇役として、子どもたちの学びの舞台をともに創り上げていきましょう。

「子どもが主役」の学校では、どんなことが起こるのでしょうか？

子どもたちが自ら考え、行動する姿が見られます。指示を待つのではなく、自ら課題を見つけ、解決しようとしています。積極的に意見を交換し、協力して取り組む姿が見られます。心理的安全性が確保され、安心して学べる環境が整います。失敗を恐れずに、新しいことに挑戦できます。自分の考えを率直に表現できます。多様な考え方を尊重し、個性を伸ばす教育が行われます。一つの答えだけでなく、様々な考え方があることを学びます。自分の強みや可能性を認識し、将来の目標に向かって進んでいきます。

学校では、どのように「子どもが主役」を実現していくのでしょうか？

### ① キャリア教育の深化

社会（学校）の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現していくこと。

### ② 目標設定と現状分析

子どもたちの現状を把握し、一人ひとりに合った目標を設定します。目標に向かって努力し、達成感を味わえるよう、継続的なサポートを行います。

### ③ コミュニケーションの重視。

教師と子ども、子ども同士、そして保護者とのコミュニケーションを大切にし、相互理解を深めます。

### ④ 自立した学習者の育成

自ら学び、考え、行動できる力を育むための指導を行います。子どもたちの成長を多面的に捉え、一人ひとりの努力を評価します。

### 【保護者の皆様へのお願い】

「子どもが主役の学校づくり」は、一朝一夕にできるものではありません。学校と家庭、地域が協力し、ともに子どもたちの成長を支えていくことが大切です。

お子様の成長をあたたく見守り、励ましていただきありがとうございます。「子どもが主役」となるように、これからもさらにご家庭と学校との連携を深め、お子様の教育にご支援ください。また、ご家庭でも、お子様が主体的に学習できる環境づくりにご協力ください。

今後とも、本校の教育活動にご理解とご協力、ご支援をよろしくお願いいたします。

